

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・天候にも恵まれ、春夏物の衣料品の動向が良かった。化粧品も動きも引き続き堅調に推移している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が徐々に増加している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3月は卒業旅行などの観光客が相次ぎ、また一足早い衣替えの客も来店してくれたので、思いの外良かった。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・特に観光客が増加している。大衆居酒屋ブームで地元客も増えている。しかし求人難でスタッフが極端に不足しているため、ピーク時は客に迷惑をかけないよう、入店規制をしているため機会損失が生じている。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・3月の学生需要が見込める時期とあって、親子連れでの来店が多く、販売も増えている。競合他社との取り合いにはなっているが、検討後戻ってくる客も多く好調である。
		観光名所（職員）	単価の動き	・個人客が多い。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	来客数の動き	・以前に比べ直近又は当日の予約が増えてきており、受注が活発化している。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・建て売り及び建築条件付き土地販売広告への反応が良い。申込みもある。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊部門に関しては、前年よりも客数も単価も上がっている。観光は好調に感じられる。飲食部門は、前年よりも客数が減っている。この時期は歓送迎会のシーズンであるが、利用が少なかった。地元の客が中心なので、財布のひもが固い。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・数字がなかなか期待していたようには伸びてこない。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・新規契約があるが、前年並みか少し及ばない。解約も多く、格安スマートフォンに行く流れがある。
		住宅販売会社（代表取締役）	競争相手の様子	・以前と比較して、他の建設会社との競合案件が少なくなっているとみられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率において前年同月の実績を下回っており、3か月前と比べマイナス幅が大きくなっている。毎月沖縄県への観光入域者数は右肩上がり、前年同月実績を上回っているが、全部のホテルが恩恵を受けているわけではない状況である。
	ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・低単価の客層が増えているのに逆行して、基本的に単価を上げている。そのため、間違いなく売上の的にも多少ダウンするとみている。	
	x	商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街内でも業種が偏っている。ここ数年で小さい飲食店が増えているが、肝心の物販は大変厳しく、危機感を抱いている状況である。
企業動向 関連 (沖縄)	-	-	-	-
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・景気そのものは悪くない上に、沖縄行事のジュルクニチや高校合格祝い等もあり、売上もやや良くなりつつある。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末工事着工により、やや出荷が増えた。公共、民間工事は前年比減となっている。
		輸送業（営業）	それ以外	・貨物量については増えているとみられるが、物流業界においても人手不足や労基問題、燃料高騰などが重くのし掛かり、運行三費の上昇が続いている。
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・2017年12月の週平均件数855件に対し、2018年3月は1,058件と、203件も増加している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・とにかく求人が多い。他県からの求人や初接触の企業、異業種の求人等、様々である。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・求職者の応募が少ないことで、企業からの問合せが相変わらず多いが、派遣への登録も減少している現状を伝えている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加傾向と求職者の減少傾向が続いている。
	-	-	-	-

